



SONIC CITY

2024 SERIES

7:00pm, December 13th (FRI),
2024

ソニックシティ 2024 シリーズ 第九演奏会

埼玉第九合唱団第95回演奏会

2024年12月13日(金) 午後7時開演／ソニックシティ 大ホール

program

「第九」演奏会2024 日本フィルハーモニー交響楽団

ニコライ 歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲（約9分）

Otto NICOLAI: "The Merry Wives of Windsor" Overture

～休憩(15分)～

ペートーヴェン

交響曲第9番《合唱》二短調 op.125（約65分）

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.9 "Choral" in D-minor, op.125

指揮：下野竜也

Conductor: SHIMONO Tatsuya

ソプラノ：富平安希子

Soprano: TOMIHIRA Akiko

メゾソプラノ：小泉詠子

Mezzosoprano: KOIZUMI Eiko

テノール：糸賀修平

Tenor: ITOGA Shuhei

バリトン：宮本益光

Baritone: MIYAMOTO Masumitsu

合唱：埼玉第九合唱団

Chorus: Saitama Daiku Chorus

コンサートマスター：扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

ライブ配信：神川町、上里町

本日の公演はメンバーズTVUチャンネルでライブ＆アーカイブ配信をしております。

1000円で3ヶ月、何度もご視聴いただけます。



主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター / さいたま市 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援

埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市教育委員会 / 埼玉県吹奏楽連盟 / 埼玉県合唱連盟

協賛

株式会社タムロン

表紙作品提供

埼玉県立新座総合技術高等学校 デザイン専攻科 並木 さくら

作品名「振動」

作者コメント 「指揮者が束ねる音の振動と重厚な歴史をマーブリングの渦で表現しました。
重なるシアーは音を包み込むイメージです。」

【アンケートのお願い】 今後のソニックシティ主催公演参考のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方から抽選で3名様に本日の出演者・下野竜也氏、富平安希子氏、小泉詠子氏、糸賀修平氏、宮本益光氏のサイン色紙をお送りいたします。右の二次元コードより、スマートフォン・タブレットからお答えください。（所要時間約5分）



▶全てのプログラムが終了した時写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合っていただければと存じます。（SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします）

幻のケルントナー門劇場と「第九」の初演



ケルントナー門劇場 ツァイチエク画 19世紀後半

「第九」、つまりベートーヴェン作曲『交響曲第9番』の初演がおこなわれたのは、ケルントナー門劇場という場所。中央ヨーロッパに大帝国を築いたハプスブルク家が、帝都ウィーンに構えていた2つの宮廷劇場の1つである。元々は18世紀初頭に建てられ、火災による再建を経たのち、19世紀に入ると歌劇、つまりオペラを中心とした演目が上演されるようになった。(なおもう1つの宮廷劇場では、演劇が主要レパートリーとなる。)

本日の演奏会の幕開けを飾るニコライも、ウィーンで活躍していた時代は、もっぱらこの劇場で指揮をおこなっていた。つまりケルントナー門劇場は、現在のウィーン国立歌劇場の元祖ともいえる存在だった

のである。

なおベートーヴェン（1770-1827）の生きていた時代、つまり19世紀初頭のウィーンには、演奏会専用のコンサートホールは存在していなかった。また現在のように、人々がチケットを購入し、自分たちの聴きたい音楽を聴きにゆくという「公開演奏会」も、ウィーンではようやく始まつたばかりという状態だった。

というわけで、演奏会が行われる場合は、公演がない日に劇場が用いられることが非常に多かつた。しかも音楽家が、自らの新作を自身の指揮や演奏で聴かせ、会場や出演者の手配もすべておこない、チケットの販売も自ら手掛けるという、いわば手弁当のワンマンショー的な演奏会のスタイルが圧倒的だった。

実のところベートーヴェンの「第九」の初演も、そのようにしておこなわれたのである。出演は、ケルントナー門劇場を中心に働く宮廷劇場の管弦楽団をはじめ、独唱者や合唱者。つまり、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やウィーン国立歌劇場合唱団の元祖ともいえる団体が演奏をおこなった。しかもそれだけでは、ベートーヴェンの満足できるような音響が得られなかつたため、ウィーンの音楽愛好家たちの集まりである楽友協会のメンバーも、オーケストラや合唱団に加わった。

つまり「第九」については初演当時からして、本日の演奏会のように「プロ」と「アマチュア」が共演するというスタイルが存在していたことになる。リハーサル時間については十二分とはいえないなかつたようだが、それでも宮廷劇場で活躍する優れた音楽家、さらには愛好家といえどもこれまた優れた腕前を持つ楽友協会の会員たちの活躍で、演奏会は大成功に終わった。

現在、ケルントナー門劇場は存在しない。19世紀半ば以降におこなわれた、ウィーンを近代都市に生まれ変わらせるための大工事の中で取り壊され、そこから一区画外側に、ウィーン国立歌劇場（当時は「ウィーン宮廷歌劇場」という名称だった）がお目見えした。そしてケルントナー門劇場の跡地には、ウィーンを代表する名物ケーキの「ザッハー・トルテ」で有名な高級ホテルの「ホテル・ザッハー」が建てられた。

そんなホテル・ザッハーの中には、ひっそりとこんなプレートが掲げられている。「この場所で『第九』が初演された」…。今年はその「第九」初演から、200年目にあたる。

※「第九」の初演を含め、その成立や受容については、筆者による『ベートーヴェン《第九》の世界』(岩波新書) もご覧ください。

文章：小宮正安



©Nanako Ito

指揮：下野 竜也

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。

鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年キジアーナ音楽院で指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員を経て1999年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーン国立演劇音楽大学に留学。

2000年東京国際音楽コンクール＜指揮＞優勝と斎藤秀雄賞受賞、2001年バンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

NHK交響楽団をはじめ国内の主要オーケストラの定期演奏会に毎年のように招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチリア国立アカデミー管、チェコフィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、ロワール管、シンフォニア・ヴァルソヴィア、サンノゼ響、バルセロナ響などに客演。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演で指揮を務めている。

読売日本交響楽團初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽團常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。

出光音楽賞、新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、斎藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、MBC賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、南日本文化賞特別賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞などを受賞。

東京藝術大学音楽学部指揮科客員教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授として後進の指導にもあたる。

鹿児島市ふるさと大使。おじさんせ霧島大使。

NHK大河ドラマテーマ曲収録(25年放送開始の最新作「べらぼう」を含む7作品)、NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティを務めるなど、放送においても活躍している。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

program notes

ニコライ 歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲

現在では「作曲家」ということで、音楽史に名前を残しているオットー・ニコライ(1810-49)。だが生前の彼は、作曲活動と並んで、指揮者としての活動も活発に展開していた。

特に注目すべきは1842年、ウィーン宮廷歌劇場で働く管弦楽団のメンバーから成る「ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団」が活動を始めるにあたり、同劇場の楽長を務めていた彼自身がその牽引役を務めた点。ウィーンの誇る音楽家だったベートーヴェンの交響曲を理想的に演奏することに心血を注ぎ、当時上演至難な作品と見なされていた「第九」についても、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団創設の翌年にあたる1843年に上演をおこなっている。

そんなニコライだったが、やがてウィーンを去り、ベルリン王立歌劇場の楽長に着任する。しかもこの劇場では、彼は指揮だけではなく歌劇を作曲する任務も負っていた。そうした状況の中で、既にウィーンにいた時に書き始めていた『ウィンザーの陽気な女房たち』を完成させ、1849年に初演。シェイクスピア(1564-1616)による同名の傑作戯曲(好色な初老の騎士を、女性たちが中心になってぎやふんといわせる喜劇)を基に、楽しく豊かな旋律に溢れた音楽が満載されたこの作品は、大成功を収める。

本日の上演される「序曲」は、ファルスタッフに対する仕返しの場面で演奏される旋律が中心。月夜の森の風景を序奏部分に継ぎ、人々が彼に様子を仕掛ける様子を描いた活発な主部が続く。

曲目解説：小宮正安

profile



©YOSHINOBU FUKAYAaura.Y2

ソプラノ：富平 安希子

東京藝術大学卒業、同大学院修了。明治安田生命クオリティ・オブ・ライフ助成金を受け渡独し、シュトゥットガルト州立音楽大学オペラ科を最優秀の成績で修了。05年リヒャルト・ワーグナー協会奨学生。ヴィルトバート・インターナショナル・ベルカントコンクール第2位、聴衆賞受賞。ミュンヘンのバイエルン州立歌劇場オペラ研修所に合格し、『ばらの騎士』『ヘンゼルとグレーテル』『魔笛』等に出演、著名な共演者のもとで研鑽を積む。またドイツ各地で『フィガロの結婚』スザンナ、『メリー・ウィドウ』ヴァランシエンヌ等で出演し、歌唱、演技両面を絶賛された。国内では、二期会『魔笛』『金閣寺』への出演の他、『魔弾の射手』エンジエン、『ナクソス島のアリアドネ』ナヤーデ、『後宮からの逃走』プロンデ、『フィデリオ』マルツェリーネ等数多く出演。近年も日生劇場『ラ・ボエーム』ムゼッタ、二期会『ルル』タイトルロール、『天国と地獄』ユリディス、『影のない女』皇后等に出演、表情豊かな声質と華やかな舞台姿、卓越した演技力は高い評価を得ている。また、「第九」や宗教曲等のコンサートソリストを務める他、ドイツリートなど歌曲の演奏においても定評がある。二期会会員



メゾソプラノ：小泉 詠子

東京藝術大学大学院修了課程及び博士課程修了、博士号取得。二期会オペラ研修所修了後、文化庁在外研究員として渡伊。第76回日本音楽コンクール第3位受賞。オペラでは、二期会『ファウストの劫罰』マルグリート、『ノルマ』アダルジーザ、『ナクソス島のアリアドネ』ドゥリヤーデ、サイトウ・キネン・フェスティバル松本及び日生劇場『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル、『ルサルカ』料理人の少年、グランドオペラ共同制作『カルメン』メルセデス、新国立劇場『イエヌーファ』パレナ、『ワルキューレ』ジークルーネ、『スーパーエンジェル』ルイジ等に出演する他、『蝶々夫人』『魔笛』『椿姫』等にも出演している。コンサートソリストとしては、国内での、M・シュナイト指揮ブルックナー「ミサ曲へ短調」「テ・デウム」や、J.ノット指揮モーツアルト「レクイエム」等の他、ブラハ国立歌劇場管弦楽団、コソボ交響楽団ともモーツアルト「レクイエム」のソリストとして共演。ベルリンで開催された「ヤング・ユーロ・クラシック音楽祭」では「第九」ソリストを務めた。2021年度第15回岩城宏之音楽賞受賞。本年7月、二期会『椿姫』フローラを演じ好評を博した。二期会会員



テノール：糸賀 修平

武蔵野音楽大学卒業。同大学院及び新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁新進芸術家海外研修制度研修生としてイタリア・フィレンツェへ、その後ローム・ミュージック・ファンデーションの音楽在外研究生としてドイツ・ベルリンにて研鑽を積む。第1回エンツォ・ソルデッロ国際コンクールで入賞、ロッシーニ『セヴィリアの理髪師』アルマヴィーヴァ伯爵役を獲得し、イタリア・クーネオにおけるCultura del Mondo festivalで演じた。国内では、新国立劇場『フィガロの結婚』ドン・クルツィオ、『蝶々夫人』ゴロー、『カルメン』レメンダード等を演じている他、ブリテン作曲『ピーター・グラムズ』では、急遽ボブ・ボウルズ役の代役を務め好評を博した。その後も二期会『ダナエの愛』マルクール、『こうもり』アルフレード、チョン・ミョンファン指揮『蝶々夫人』ゴロー、オペラ夏の祭典『トゥーランドット』ポン等で高い評価を得る。コンサートでも「第九」をはじめ、オルフ「カルミナ・ブランーハ」等のソリストとして活躍。本年2月、新国立劇場『ファルスタッフ』バルドルフォ、5月6月『サロメ』エダヤ人4にて出演。地域創造公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)登録アーティスト。二期会会員



バリトン：宮本 益光

東京藝術大学卒業、同大学院博士課程修了。学術（音楽）博士号取得。2003年A.プレヴィン「欲望という名の電車」スタンリーで一躍注目を集め、以降、二期会『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、『メリー・ウィドー』ダニロ、新国立劇場『鹿鳴館』清原栄之輔、日生劇場『オルフェオとエウリディーチェ』オルフェオ、『メデア』イイヤソン、神奈川県民ホール『魔笛』パパゲーノ、『ヘンゼルとグレーテル』パパ等話題の公演に多数出演。15年神奈川県民ホールおよび19年二期会『金閣寺』では溝口にて主演、高い評価を得た。CDも「おやすみ」「あしたのうた」加藤昌則歌曲集、「碧のイタリア歌曲」「うたうたう 信長貴富歌曲集」等数多くリリース。また演奏のみならず、作詞、訳詞、執筆、演出等でも多彩に活躍。著作に「職業 宮本益光」、歌曲集「私の歌」等がある。MOZART SINGERS JAPANを主宰、CD「コジ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」等リリース。05年テレビ愛媛賞25.09年よんでん芸術文化奨励賞受賞。桐朋学園大学准教授、聖徳大学客員准教授、東京藝術大学講師。二期会会員
オフィシャルサイト：<https://www.masumitsu-official.com/>



合唱指揮：田尻 桂

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒。ピアノを父より手ほどきを受け、その後結城八千代、故伊達純、田近完の各氏に、指揮を故高階正光氏に師事。1984年から埼玉第九合唱団のピアニストとなり、絶大な信頼を得る。1991年第36回定期演奏会では新星日響とモーツアルトのピアノ協奏曲、1996年第46回定期演奏会では東京ニューシティ管弦楽団とシューマンのピアノ協奏曲と、それぞれの演奏のソロ・ピアニストも務めた。2004年から正指揮者となり、夏の定期演奏会では東京交響楽団や東京ニューシティ管弦楽団との共演により、『モーツアルト／レクイエム、ハ短調ミサ』『バッハ／ロ短調ミサ』『ブームス／トイツレクイエム』『メンデルスゾーン／交響曲第2番“讃美歌”』『ドヴォルザーク／スター・バト・マーテル』『ベートーヴェン／ミサ曲ハ長調』等のオーケストラ付き合唱曲の大作の数々を指揮し、また冬は日本フィルハーモニー交響楽団の“第九”埼玉公演において著名指揮者との共演を合唱指揮者として支えている。

埼玉第九合唱団

埼玉第九合唱団は1973年に埼玉県民の手でベートーヴェンの「第九」を演奏することを目的に結成された。夏には合唱団主催によるバロックから現代までの様々な合唱曲に取り組み、年末にはオーケストラとの共催で「第九」の演奏を行い今年で49回目を迎えた。団員は現在120名以上を擁し、県内最大のアマチュア混成合唱団として各種音楽祭やイベントにも参加している。2020年2月からコロナ禍により練習を休止し、2022年5月、2年3ヵ月ぶりに練習を再開した。昨年6月に創立50周年記念演奏会を開催し、ベートーヴェンの「ミサ曲ハ長調」を演奏し、好評を得た。今年は、令和6年能登半島地震のためチャリティー・コンサートを開催、復興支援の活動を行った。「第九」を100年歌い続けることを目標に、今後もますます地域に密着した活動が期待されている。

来年の演奏会の予定 埼玉第九合唱団第96回演奏会

2025年7月27日	午後
会 場	ソニックシティ大ホール
曲 目	W.A.モーツアルト作曲「レクイエム」、「ピアノ協奏曲 第23番イ長調」
指 握	田尻 桂 ピアノ 鈴木結花
管弦楽	パシフィックフィルハーモニア東京
ソリスト	ソプラノ／櫻井愛子
	アルト／城守 香
	テノール／野中裕太
	バス／原田 圭

団員名簿（パート別・50音順）

■ソプラノ

新井 敦子	池田 純子	伊藤 真里	伊原善理子	鵜沼美津子	宇野 聖子	奥村 真帆	大嶋佐知子
大友裕美子	大波登美子	笠原佐枝子	蚊野 千枝	神田 啓子	北川 玲子	木村 雅子	後藤 弘子
小林 千歳	小林 文子	今田美代子	近内満知子	榎 明子	佐藤 高子	佐藤真知子	佐藤 恒代
佐野由起子	下 公子	鈴木 和子	鈴木 典絵	鈴木 佳子	須藤 知	瀬尾 泉	高橋真理子
高山 妙子	滝上 明子	田熊 裕子	寺内恵美子	富田麻紀子	中村 宇子	萩原美由紀	林 昌枝
原田富美枝	原山 知美	深澤 恵	古川 達代	松倉 敬子	宮代 智子	村山ふき代	森部 陽子
矢口よし恵	吉田万利子	吉富ゆかり	吉永 裕子				

■アルト

安倍 智子	綾田千栄子	池田五十鈴	石井 章子	石島 祥子	上野喜美子	江田 直美	小笠原記公子
小野寺鈴江	龜田 光子	木ノ内智賀子	木村千恵子	草谷智意子	小池 要子	小久保純江	斎藤 智子
齊藤真緒美	桜井由美子	佐々木由美子	笹原 浩美	佐藤 和子	佐藤むつみ	渋谷智恵美	島袋津久志
島村祐美子	菅原 美帆	高橋 桂子	田尻 美香	田保 京子	築紫マエ子	中野 みほ	中村 瑞恵
西川久美子	野沢 道子	前島 清江	松井 克恵	松崎 淳子	溝口 千秋	三保 香	宮崎 和子
村瀬はるみ	安井 和子	山田 則子	山本 敦子	吉田 利夏	吉野 礼子	吉見 順子	渡辺美代子

■テノール

浅子 元	新井 孝治	石川 正	今村 正道	小倉 謙治	笠井 敏和	齊藤 正人	塩野 博司
新祖 章	高橋 浩	滝沢 亨次	竹内 宏喜	中礼 和人	戸田喜久男	豊島 峯生	浜野 浩
林 昭宏	古川 千春	前田 拡志	三村 隆男	門真 宏治	山川 進	若林 祥文	和田 浩

■バス

荒井 敏朗	安藤 �剛	池田 要	池田 敏也	梅山 博之	遠藤 哲朗	川島 英雄	川波 昭文
岸本 保夫	草谷 六雄	斎 孝則	佐藤 紘	下山 修	鈴木 信彦	大門 力	高木 正己
竹内 勤	塚越 道彦	西川 裕二	平川 直弘	深澤 渡	正木 勉	百崎 直也	

■指導者

常任指揮者／田尻 桂 指揮者／浅子 元 ピアニスト／鈴木 結花 ボイス・トレーナー／原田 圭、城守 香

An die Freude

O Freunde, nicht diese Töne !
Sondern laßt uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere !

Freude, Schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum.
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng getheilt;
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

Wem der große Wurf gelungen,
Eines Freundes Freund zu sein,
Wer ein holdes Weib errungen,
Mische seinen Jubel ein !
Ja, wer auch nur eine Seele
Sein nennt auf dem Erdenrund !
Und wer's nie gekonnt, der stehle
Weinend sich aus diesem Bund !

Freude trinken alle Wesen
An den Brüsten der Natur;
Alle Guten, alle Bösen
Folgen ihrer Rosenspur.
Küsse gab sie uns und Reben,
Einen Freund, geprüft im Tod;
Wollust ward dem Wurm gegeben,
Und der Cherub steht vor Gott.

Froh, wie seine Sonnen fliegen
Durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet, Brüder, eure Bahn,
Freudig wie ein Held zum siegen.

Seid umschlungen Millionen !
Diesen Kuß der ganzen Welt !
Brüder - überm Sternenzelt
Muß ein lieber Vater wohnen.
Ihr stürzt nieder, Millionen ?
Ahnest du den Schöpfer, Welt ?
Such' ihn überm Sternenzelt !
Über Sternen muß er wohnen.

おお友よ、このような音ではだめだ！
そうではなくより心地良い音に
さあ声を合わせよう より喜びに満ちた音に！
(以上ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン作詞)

喜びよ、神々の美しい閃光よ
エリジウムの娘よ
私たちは足を踏み入れる 炎に酔いしつつ
素晴らしいお前の聖所へと。
お前の魔法は再び結びつける
厳格に分断されていた世の趨勢を。
あらゆる人々は兄弟となるがよい
お前の柔らかな翼が憩うところで。

大きな幸いを得た者
即ち友を友とできた者
優しい妻を得た者は
その喜びを共にしよう！
そうだ、たとえたったひとつの魂であっても
自分のものと呼べるものと世界で持つ者は！
そしてそれができない者は、そっと立ち去るがよい
涙しながらこの集まりの外へ！

あらゆる存在は喜びを飲む
自然の乳房から。
いかなる善者も、いかなる悪漢も
バラの道をゆく。
喜びは私たちに接吻と葡萄酒とを与えてくれた
そして死の試練をのりこえた友も。
快樂などはウジ虫に与えてしまえ
そうすればケルビムが見えてくる 神の御前に。

朗らかに 創造主の恒星が飛翔するように
天の輝かしい運行の中を
進め、兄弟よ、君たちの行く道を
喜びに満ちて、勝利へ向かう英雄のように。

抱かれよ 数多の者たちよ！
この接吻を全ての世界に！
兄弟たちよ 星の輝く天幕の彼方には
慈愛に満ちた父がいるに違いない。
ひざまずくか、数多の者たちよ？
創造主を感じるか、世の者たちよ？
その方を星の輝く天幕の彼方に探し！
星の彼方にその方はいるに違いない。

(以上、フリードリヒ・シラーの『歓喜に寄す』をベートーヴェンが自由に編纂)

対訳：小宮正安

日本フィルハーモニー交響楽団
第149回さいたま定期演奏会

2025 5.24 SAT
開場13時 開演14時

指揮：カーチュン・ウォン ヴァイオリン：服部百音
曲目：シベリウス／ヴァイオリン協奏曲
マーラー／交響曲第5番




©Ayane Sato ©YUJI Hori

公演詳細 

日本フィルハーモニー交響楽団
第150回さいたま定期演奏会

2025 7.4 FRI
開場18時 開演19時

指揮：原田慶太樓 ピアノ：阪田知樹
曲目：ラフマニノフ／ヴォカリーズ（管弦楽版）
ラフマニノフ／パガニーニの主題による狂詩曲
ラフマニノフ／交響曲第2番




©kumi Suzuki ©HIDEKI NAMAI

公演詳細 

日本フィルハーモニー交響楽団
第151回さいたま定期演奏会

2025 9.27 SAT
開場13時 開演14時

指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：神尾真由子
曲目：サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番
チャイコフ斯基／交響曲第5番




©Makoto Kamiya

公演詳細 

日本フィルハーモニー交響楽団
第152回さいたま定期演奏会

2025 11.15 SAT
開場13時 開演14時

指揮：西本智実 ヴァイオリン：金川真弓
曲目：ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲
ドビュッシー／小組曲
ラヴェル／ボレロ




©木村直樹 ©Victor Marin

公演詳細 

■チケット価格（単独券）

S : 6,000円 A : 4,500円 B : 3,500円 Ys : 2,000円 (5.24/7.4/9.27/11.15/1.31/3.28)

S : 7,000円 A : 5,500円 B : 4,000円 Ys : 2,000円 (12.12)

【発売日】 会員12月16日（月） 一般12月18日（水）



**日本フィル・ソニックシティ
「第九」演奏会2025**
2025 12.12 FRI
 開場18時 開演19時

指揮：出口大地
 ピアノ：浜松国際ピアノコンクール入賞者
 ソプラノ：砂田愛梨 メゾソプラノ：山下裕賀
 テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典
 合唱：埼玉第九合唱団
 曲目：リスト／ピアノ協奏曲第1番
 ベートーヴェン／交響曲第9番「合唱」

©Satoru Masuko
©Yoshinobu Fukaya

©hiro.pberg_berlin
©FUKAYAauraY2
©hiro.photo

公演詳細




**日本フィルハーモニー交響楽団
第153回さいたま定期演奏会（バレエ公演）**
2026 1.31 SAT
 開場13時20分 開演14時

指揮：飯森範親 バレエ：牧阿佐美バレエ団
 曲目：★印=バレエ付き

【シュトラウスⅡ世】**美しく青きドナウ** ★ 【シュトラウスⅡ世】**トリック・トランチ・ボルカ** ★
 【シュトラウスⅡ世】**ボルカ・シュネル「元気にやろうぜ」** ★ 【シュトラウスⅡ世】**ボルカ・シュネル「ハンガリーワンダ！」**
 ハチャトゥリアン／**仮面舞踏会** からワルツ★ チャイコフスキイ／**白鳥の湖** からワルツ
 チャイコフスキイ／**白鳥の湖** から情景（第2幕冒頭）★ チャイコフスキイ／**くるみ割り人形** からレバック★
 チャイコフスキイ／**くるみ割り人形** から花のワルツ★ ドヴァルジャーカ／**交響曲第9番「新世界」**

©山岸伸
©山廣康夫

公演詳細




**日本フィルハーモニー交響楽団
第154回さいたま定期演奏会**
2026 3.28 SAT
 開場13時 開演14時

指揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大
 曲目：ベートーヴェン／ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
 ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」

©Martin Richardson
©Ariga Terasawa

公演詳細


会場：ソニックシティ 大ホール

※演者・曲目変更もございます。予めご了承ください。

最大25% OFF！セット券がお得

2025シリーズセット券価格	S席	A席	B席	Ys席
6公演セット券(ホールメンバーズ)	27,000円	20,250円	15,750円	10,200円
6公演セット券(メルマガ・一般)	30,600円	22,950円	17,850円	10,200円
6公演+「第九」演奏会2025	S席	A席	B席	Ys席
定価	43,000円	32,500円	25,000円	14,000円
7公演セット券(ホールメンバーズ)	32,250円	24,380円	18,750円	11,900円
7公演セット券(メルマガ・一般)	36,550円	27,630円	21,250円	11,900円

〈チケットお申込み〉

ネット予約 <https://yyk1.ka-ruku.com/sonic-city-s/showList> ※ネット予約のご利用には、初めに利用登録が必要です。
 ホールメンバーズ事務局 048-647-7722 (平日9:00～17:00)

●Ys席 (25歳以下)
 はA席またはB席
 から選べます。

●車イス席 (10席)
 をご利用の場合、
 Ys席と同料金に
 なります。

Sonic Dance Stage

2025.2.1 sat

～生演奏で踊るダンスイベント～

2025年2月1日(土)14:00 @ソニックスシティ大ホール
全席自由 一般:3,000円 Ys(19歳以下):2,000円
048-647-7722(平日9時~17時)

【後援】埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会
【協力】株式会社アルフォ

坂戸高校 久喜工業高校 伊奈学園総合高校 越ヶ谷高校
ヒューマンキャンバスのぞみ高校 大宮商業高校 浦和商業高校
草加東高校 西武学園文理中学・高校 朝霞西高校 杉戸高校
常盤高校 上尾南高校 川口市立高校 栄北高校 埼玉栄高校



[Live Music]



Music Salon 音季～おとしづく～

[Opening]



Saitama Old-School DANCE CLUB

[Guest]

KO-ney

AKAI Professional
オフィシャルMPCプレイヤー
フィンガードラマー
ビートメイカー

クラウドファンディング

[期間:2024年10月31日~2025年1月15日]
お得なペアチケットやオリジナルグッズもあります！
皆様のご支援よろしくお願ひいたします！



ソニックスダンスステージ前夜祭

会場:武蔵野銀行本店2F

「M's SQUARE」

期間:2025年1月（予定）

内容: SDS2024の動画放映
写真展示



日本フィルハーモニー交響楽団



©ZUZANNA SPECIAL

2025年1月演奏会



©Shin Yamamoto

指揮:山田和樹

ヴァイオリン:周防亮介

エルガー:行進曲《威風堂々》第1番

ヴォーン・ウィリアムズ:掲げひばり

エルガー:交響曲第2番

1/17, 18, 1/25 公演:好評発売中 1/26 公演:2024年10月23日(水)発売
【1/17, 18, 25 公演】S ¥8,500 A ¥7,000 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500 Y(10歳以下) ¥2,000
【1/26 公演】S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P ¥4,500 G(10歳以下) ¥5,000 Y(10歳以下) ¥3,000

G+Ys U.S.客以外から選べます

2025. 1. 17
117 (金) 19:00
サントリーホール

2025. 1. 25
125 (土) 17:00
横浜みなとみらいホール

2025. 1. 18
18 (土) 14:00
サントリーホール

2025. 1. 26
126 (日) 14:00
東京オペラシティコンサートホール

※未成年者の入場はご遠慮ください。託児サービスがございます。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。予めご了承ください。

お申込み
お問合せ

日本フィル・サービスセンター

TEL: 03-5378-5911 / チケット: <https://eticket.japanphil.or.jp>
(平日 10時~17時)



世界が認めた光学技術

タムロンは、あらゆる分野の光学製品を開発・製造する総合光学機器メーカーです。その中でも、ミラーレスカメラ／デジタル一眼レフカメラ用交換レンズは、独創的な仕様、優れた描写力、画期的なコンパクト設計、操作性の良いデザインにより、世界中で高く評価されています。私たちはこれからも、独自の先端光学技術により、さまざまな事業分野における製品を通じて、社会の感動と安心を創造してまいります。



主な取り扱い製品

ミラーレスカメラ用交換レンズ、一眼レフカメラ用交換レンズ、監視カメラ用レンズ、FA/マシンビジョン用レンズ、TV会議用レンズ、カメラモジュール、車載用レンズ、コンパクトデジタルカメラ用レンズ、ビデオカメラ用レンズ、ドローン用レンズ、医療用レンズ、他



株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
<https://www.tamron.com/jp/>

TAMRON
Focus on the Future